

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
部 長	岩嶋 大介
非常勤医師	山縣 俊之
非常勤医師	白山 敬之

—概要—

りんくう総合医療センターに拠点を置き、呼吸器内科専門医が非常に少ない泉州南部地域で呼吸器内科専門医として地域住民の診療に従事する(質が高く、安全性が保障された医療の提供)だけでなく、医療水準の向上と、疾患の多様性にも対応する。この目的を達成するためには、専門医のみでは不十分である。一般医、他診療科の専門医、薬剤師、看護師など有効な医療連携(パートナーシップ)を構築し、高度先進医療の提供にも貢献しなければならない。この目標を掲げて2012年4月に寄附講座としてりんくう総合医療センターに開設された。2018年8月からは岩嶋医師が呼吸器内科部長を担当した。

—実績—

外来診療

一般的な呼吸器疾患の診療の中で、慢性咳嗽、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺炎、などの診断、長期管理の質の向上に力を注いでいる。

1) 診察

担当	月	火	水	木	金
午前	山縣		岩嶋	岩嶋	山縣
午後	山縣	岩嶋	白山	岩嶋	山縣

2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)には、のべ4166名の患者の診療を行った。院内紹介患者は242名、院外からの紹介患者は272名であった。

2) 禁煙外来

担当	月	火	水	木	金
午後	山縣				山縣

2013年1月から禁煙外来を引き継いで行っている。

2019年度は延べ87名の患者に禁煙指導を提供した。

3) 検査

慢性咳嗽の鑑別診断、気管支喘息の確定診断、COPDの確定診断と病期分類、気管支喘息とCOPDとの鑑別診断などに寄与出来るようにするため、最も簡易な肺機能検査(スパイロメトリー)だけでなく、気管支拡張薬吸入前後でスパイロメトリーを行い一秒量の変動で気道閉塞の回復を調

べる可逆性試験(COPDの診断、病期分類には必須)を日常診療の中で取り入れている。

4) 院内診療

水曜日の午後RST(Respiratory Support Team)回診に参加し、人工呼吸管理患者さんもしくは、離脱直後の重症呼吸不全患者さんの診療支援、相談などに対して、看護師、理学療法士、臨床工学士とともに、チーム医療を行っている。(白山医師担当)。

入院診療

2019年度の呼吸器内科の新規入院患者は17名であった。入院病名の内訳は、肺癌11、肺炎3、気管支喘息1、膿胸1、気胸1、であった。入院患者数はのべ92名、平均在院日数は5.4日であった。

気管支鏡検査は、2019年度内で56件に施行した。うち、49件に経気管肺生検、5件に気管支肺胞洗浄を行った。気管支鏡システムを更新した。

—今年度の成果と反省点—

関係各科からのコンサルテーションに積極的に対応し、呼吸器疾患の診断、治療に貢献した。